

科目名	公衆衛生看護方法論 (Public Health Nursing Methods)			科目コード	303
開講学科	看護学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	4年次前期	関連DP	看②
担当教員	野村 美千江、入野 了士、前田 眞*				
授業概要	公衆衛生看護活動の基本的な考え方とその方法、地域の多様な健康課題を抽出・特定するための地域アセスメントの実際について、実習フィールドである砥部町を素材に、各種保健活動計画とその具体策を学ぶ。また、地域の住民組織や地域組織・関係団体と協働する目的やその実際について、事例や演習を通して学ぶ。				
授業目標	1 公衆衛生看護領域に特有な支援方法と考え方を説明できる。 2 地域の健康課題解決に向けて、住民や関係者と協働し、合意形成を図る必要性が説明できる。 3 地域課題の把握と解決に向けて、他職種が用いる手法をその活動の実際から理解できる 4 包括的アセスメント/戦略的アセスメントと自治体の各種計画の関連を説明できる。 5 生活基盤である地区/小地域のアセスメントについて演習				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～2	公衆衛生看護活動方法の基本	公衆衛生看護活動方法の基本的考え方 【予防と健康増進、地域づくり、アウトリーチ、協働、事業化/施策化、システム化】 健康課題とは 制度や仕組みを構築する自治体における事業/施策化	野村美千江
3～4	公衆衛生看護の対象としての住民組織/地域組織の理解と支援方法	〔事前学習課題〕 住民組織、地域組織、関係団体と協働する保健活動事例を持参 地域の住民組織と協働する目的 組織のタイプと組織アセスメント 組織の支援方法・技術、連携・協働の実際	
5～6	地域課題の把握と解決に向けての手法と事例	地域の課題を把握する方法 地域課題の解決に向けた住民や関係者との協働構築手法 愛媛県内における地域住民の具体的な取り組みと支援例 地域課題解決へのプロセスづくり(グループディスカッション)	前田眞*
7～8	包括的アセスメントの実際(演習)	〔事前学習課題〕 砥部町HPや町誌等から地域アセスメントに役立つ情報を収集 疫学的知識や二次資料を活用し、量的・質的データを統合する 砥部町を包括的にアセスメントし、類似自治体と比較検討する	入野了士 野村美千江
9～12	戦略的アセスメントの実際(演習)	〔事前学習課題〕 砥部町における各種の計画を探索し、関心領域の計画を持参 健康課題と戦略的アセスメント、自治体計画 保健分野別のグループワークで計画の根拠と具体策を検討する 高齢者保健、成人保健、母子保健、災害保健	
13～15	地区/小地域への支援方法・技術ーアセスメント(演習を含む)	実習で担当する地区のアセスメント 健康情報の収集による地域アセスメント エスノグラフィックな地域アセスメント 住民リーダーインタビューガイドの作成	
成績評価方法		到達度評価 50%、健康教育個別企画書 20%、グループ成果評価 30%	
教科書		佐伯和子編「公衆衛生看護技術(公衆衛生看護学テキスト2)」(医歯薬出版) 岡本玲子編「公衆衛生看護活動I(公衆衛生看護学テキスト3)」(医歯薬出版)	
参考図書等		厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標 2019/2020」	
授業時間外の学習		事前学習について上記に記載した。	
関連科目		「社会の仕組みと健康」科目群、地域看護学・公衆衛生看護学の科目群	
備考		〔実〕 野村美千江・入野了士:保健師(保健所)	